

～真の日本語能力をめざして～

プロフィシエンシー を育てる

【編者】 鎌田修 嶋田和子 迫田久美子

日本語が「できる」とは
どういうことか。



2008年12月発売

A5判 約252頁 2,500円+税

ISBN 978-4-89358-688-9

ふ、プロなんとかって
なんなんだ!?



「授業で読みたい一冊」

日本語学習者が多様化する今――

「教室」「学習」「教材」「評価」のあり方が

見直されている今――

これから日本語教育を学ぼうとする方、

日本語教育に携わっていかうとする方に

読んでいただきたい一冊です。



ご注文・お問い合わせは・・・



にほんごの
凡人社
<http://www.bonjinsha.com>

■本社営業部 千代田区平河町1-3-13 菱進平河町ビル8F
TEL : 03-3263-3959 FAX : 03-3263-3116

■麹町店 千代田区平河町1-3-13 菱進平河町ビル1F
TEL : 03-3239-8673 FAX : 03-3238-9125

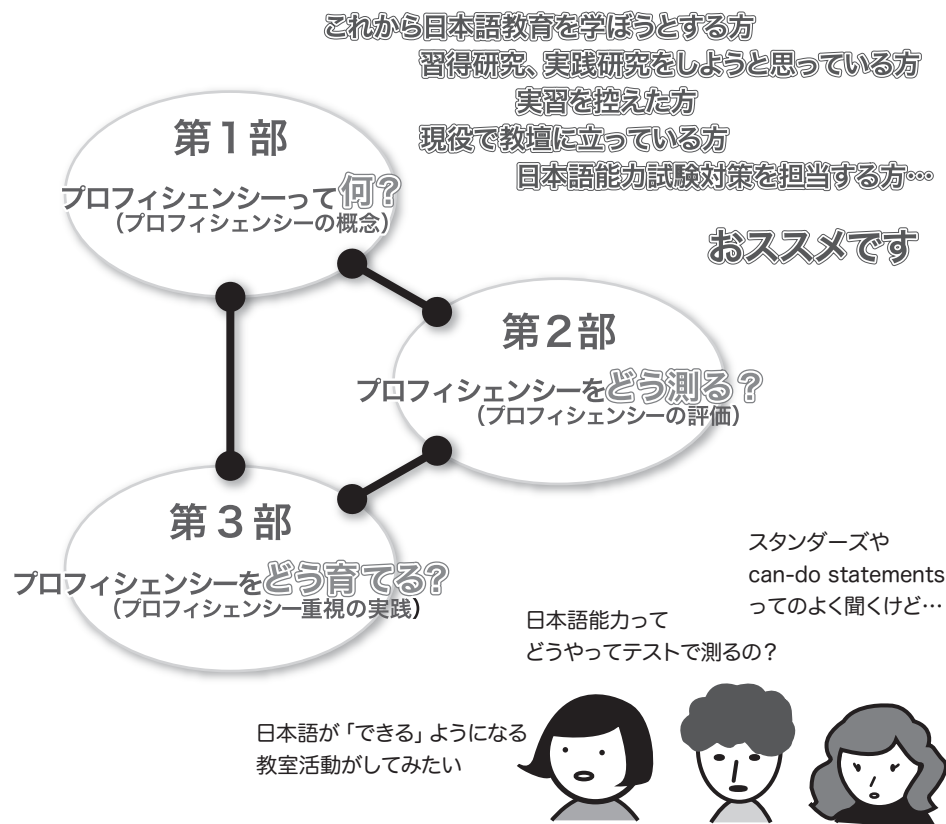
■大阪営業所 大阪市中央区本町4-5-3 大和本町ビル3F
TEL : 06-6264-8140 FAX : 06-6264-8152

特長 1

理論と実践をつなぐ 3部構成

本書「はじめに」より

私たち編者は、この本によって、プロフィシェンシーの基礎概念、さらには、それを発展させた日本語教育の現場での活動や研究への展開までが明確にわかるように、ここに収められた10の論文の構成を考えました。いや、実は「わかるように」というより、むしろ、それが「実践できるように」心がけたというのが、本当のところです。



特長 2

多彩な著者による 多角的な論

様々な分野から9名の著者が分かりやすく論じます。

目次 Contents

第1部 プロフィシェンシーって何？ (プロフィシェンシーの概念)

- 第1章 なぜ今プロフィシェンシーを考えるのか—教育現場の視点から— (嶋田和子)
- 第2章 OPI、米国スタンダード、CEFRとプロフィシェンシー (牧野成一)
- 第3章 第二言語で話すということ—言語運用力とコミュニケーション— (鳥飼玖美子)
- 第4章 英語のプロフィシェンシーとは何だろう (根岸雅史)

第2部 プロフィシェンシーをどう測る？ (プロフィシェンシーの評価)

- 第1章 <課題遂行能力とそのためのコミュニケーション能力>をめぐる (大隅敦子)
- 第2章 「移動する子どもたち」のプロフィシェンシーを考える
—JSLバンドスケールから見える「ことばの力」とは何か— (川上郁雄)
- 第3章 ACTFL-OPIにおける「プロフィシェンシー」の測定 (鎌田修)

第3部 プロフィシェンシーをどう育てる？ (プロフィシェンシー重視の実践)

- 第1章 プロフィシェンシーを重視した教育実践—実生活とリンクした教室活動— (嶋田和子)
- 第2章 プロフィシェンシーを支える学習者の誤用—誤用の背景から教え方へ— (迫田久美子)
- 第3章 プロフィシェンシー重視の教材開発—トピック・ベースのシラバス・デザイン— (小山悟)

……日本語教育のみならず、英語教育など外国語教育に携わるものなら誰でも惹きつけられるテーマでいっぱいです。(本書「はじめに」より)

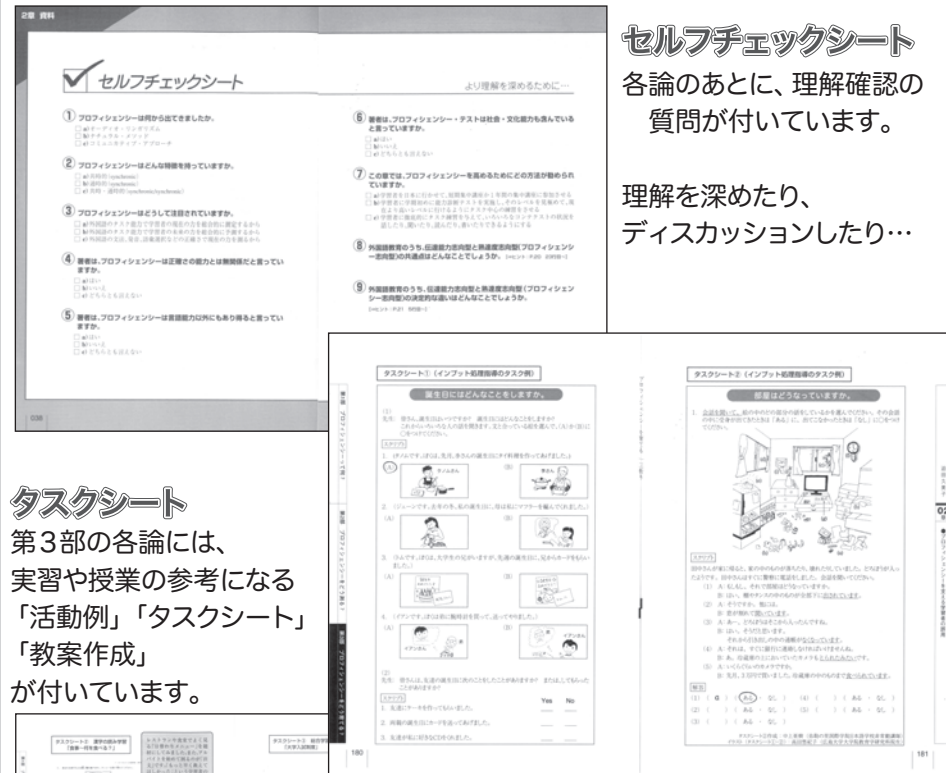


特長3

セルフチェックシート & タスクシート

セルフチェックシート 各論のあとに、理解確認の 質問が付いています。

理解を深めたり、
ディスカッションしたり…



タスクシート

第3部の各論には、
実習や授業の参考になる
「活動例」「タスクシート」
「教案作成」
が付いています。

…について、
もっと詳しく調べてみよう
こういう練習のしかたが
あるのか。
実習でやってみよう。

……のことだけど、
ぼくは……って思う。



特長4

便利な用語集&索引を つけました



日本語が「できる」とはどういうことか、それを「プロフィシェンシー」という概念
で追求し、また、その育成を試みた本書の目的を、本書だけの枠に留まることなく、
より広く、より深く展開させていただきたいという思いからの試みになりました。
(本書「はじめに」より)

キーワードから、もっと深く探索してみよう

